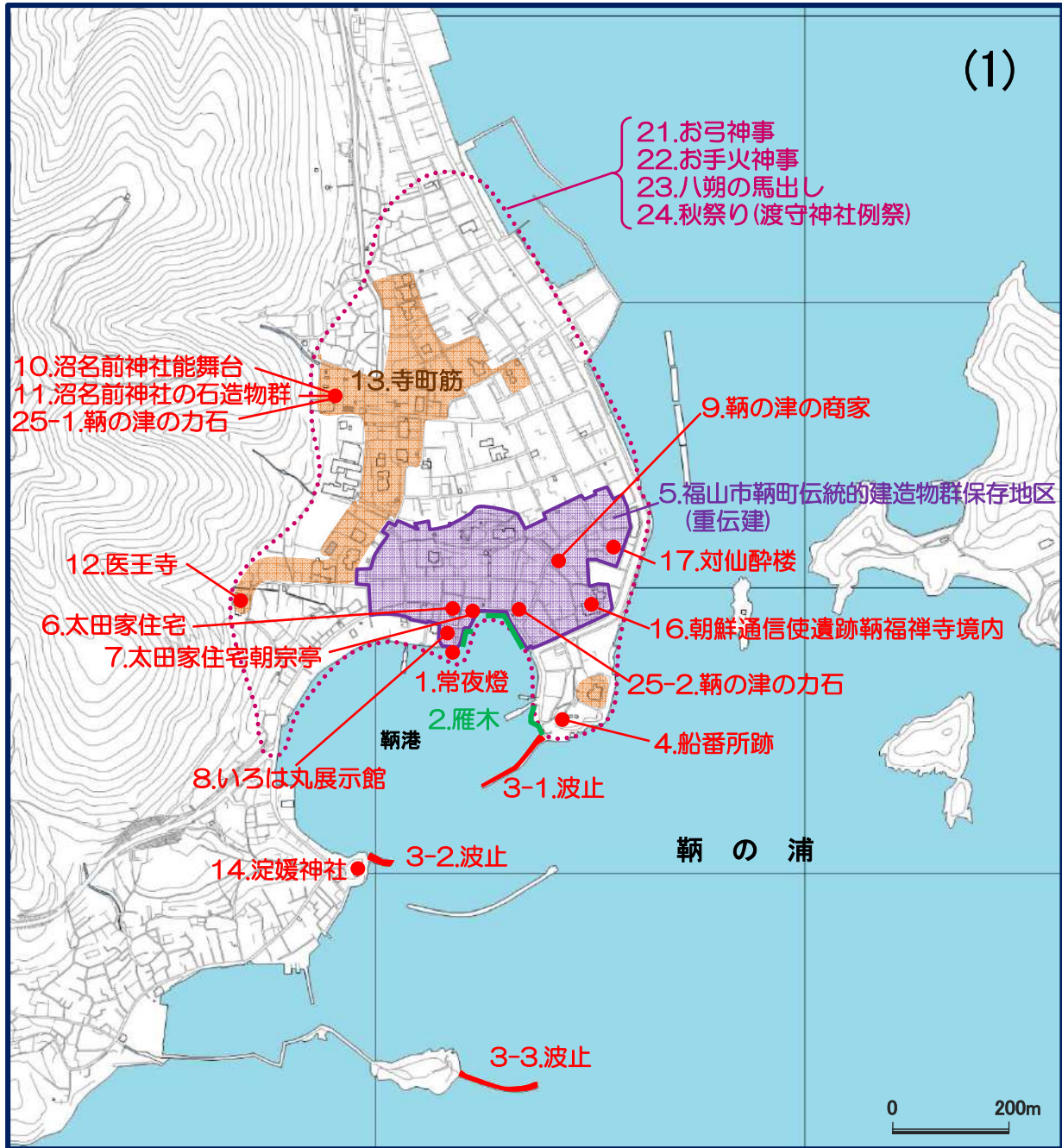


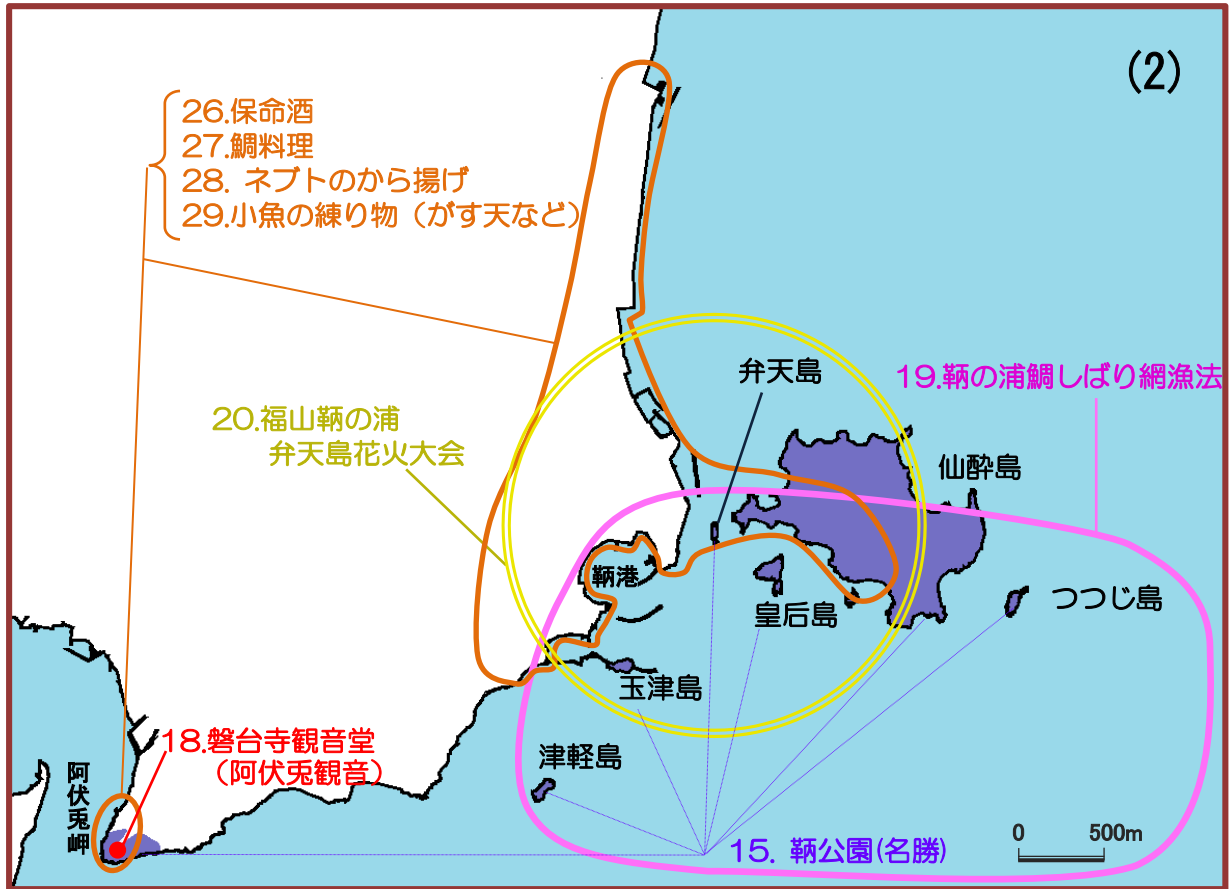
① 申請者	福山市	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E	
③ タイトル				
<p style="text-align: center;">ゆうなぎ 瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町 ～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～</p>				
④ ストーリーの概要（200字程度）				
<p>夕暮れ時になると灯りのともる石造りの「常夜燈」は、港をめざす船と港の人々を 160 年間見守ってきた鞆の浦のシンボル。</p> <p>「雁木」と呼ばれる瀬戸内海の干満に合わせて見え隠れする石段が、常夜燈の袂から円形劇場のように港を包み、その先端には大波を阻む石積みの防波堤「波止」が横たわる。</p> <p>瀬戸内の多島美に囲まれた鞆の浦は、これら江戸期の港湾施設がまとまって現存する国内唯一の港町。潮待ちの港として繁栄を極めた頃の豪商の屋敷や小さな町家がひしめく町並みと人々の暮らしの中に、近世港町の伝統文化が息づいている。</p> <div style="text-align: center;">  </div>				
⑤ 担当者連絡先				
担当者氏名				
電 話		FAX		
E-mail				
住 所				

市町村の位置図 (地図等)



構成文化財の位置図 (地図等)





ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
1	常夜燈 <small>じょうやとう</small>	未指定	航海の目印として造られた国内最大級の石造りの常夜燈。江戸時代から今も変わらず港を見守り続けている鞆の浦のシンボル。	
2	雁木 <small>がんぎ</small>	未指定	潮の干満に関係なく船を着けられ、荷揚げができるようになっている。全長約 150 m、最大 24 段もの石階段が円形劇場のように続く。石造りとしては国内最大級の規模。	
3	波止 <small>はと</small>	未指定	江戸時代、高波被害から港湾を守るために鞆港を包み込むように造られた石積みの防波堤。穏やかなカーブを長く描く。石造りとしては国内最大級の規模で、今も江戸時代の波止が 3 基ある。	
4	船番所跡 <small>ふなばんしょあと</small>	未指定	遠見番所とも呼ばれ、港に出入りする船を見張る役目を持つと同時に、安全も管理・監督していた。江戸時代、波止の付け根の高台に石垣を築き、その上に船番所が建てられた。現在は石垣、石階段部分が残る。	
5	福山市鞆町 伝統的建造物群保存地区 <small>ともちやう</small>	国重伝建	江戸時代中期までに整えられた地割の上に、廻船業で繁栄を極めた江戸時代からの伝統的な町家や寺社、石垣等の石造物、港湾施設などが一体となって良好に残る。狭い間口の敷地に庇が連なる町家や、広い敷地に建つ豪商の商家、細い路地の向こうに海が見える景観など、近世港町の町並みを色濃く残す地域。	
6	太田家住宅	国重文 (建造物)	江戸時代から明治にかけて保命酒の醸造販売で栄えた鞆を代表する豪商の遺構。広大な敷地に主屋のほか、保命酒蔵など当時の構えを良く残す。洒落たナマコ壁など意匠を随所に見ることができる。	
7	太田家住宅 朝宗亭 <small>ちやうそうてい</small>	国重文 (建造物)	常夜燈前にある荷揚げ場の隣へ位置し、港に面して長い石垣・白壁が続く。鞆の浦きっての豪商の屋敷の一つで、海外から琉球使節も迎えた大規模な町家。通りを挟んで建つ太田家住宅の別邸。	

8	いろは丸展示館	国登録	港町として繁栄した鞆の往時を偲ばせる江戸時代末期の大きな白壁の「浜蔵」。現在は、鞆沖で沈んだ坂本龍馬率いる海援隊の蒸気船「いろは丸」の足跡を証す資料館。
9	鞆の津の商家	市重文 (建造物)	間口が狭く通り土間が残る典型的な江戸時代の商家。主屋の隣には蔵が引付き並ぶ。
10	沼名前神社能舞台	国重文 (建造物)	豊臣秀吉遺愛の能舞台といわれる。鞆の商人たちが盛大な演能会を催した。国内唯一の移動式能舞台（現在は固定）。
11	沼名前神社の石造物群	未指定	海上安全の参拝者が多く、境内には港にまつわる商人や遊女などが寄進した玉垣、燈籠や鳥が止まっているような鳥居などの石造物が膨大に奉納され、近世港町をよく偲べる。
12	医王寺	未指定	港の後山の中腹に建つことから、鞆港に入ってくる船の目印になってきた。鞆港の全景が一望に見渡せ、境内にある鐘楼の鐘の音が港まで響く。
13	寺町筋	未指定	江戸時代に港の周辺部に並んで神社仏閣が整備され、面影を今日に伝えている。町角に現れる個性豊かな寺社群は圧巻。この寺の多くに朝鮮通信使の使節団は、分散宿泊した。
14	淀媛神社	未指定	鞆港西側の高台に位置し、港の入口を守護するようにそびえ立ち、平の産土神として祭られる。屋根の上にある X 字状の千木が、海から際立って見える。ここから港や島々の景勝を望める。
15	鞆公園	国名勝	瀬戸内海の中でもとりわけ美しい鞆周辺が 1925 年に名勝指定。青く輝く穏やかな海と島々の美しい稜線は、朝鮮通信使など海外からの客人をも魅了した。この名勝は各所の高台からも楽しめる。
16	朝鮮通信使遺跡鞆福禅寺境内	国史跡	朝鮮通信使の高官の迎賓館・常宿。客殿からの眺めを朝鮮通信使は、「日東第一形勝」（日本で一番美しい景色）と称賛した。
17	対仙酔楼	未指定	楼閣の 2 階では仙酔島や弁天島の景色を眺めながら来客を饗応した。頼山陽が「対仙酔楼」と命名し、ここからの眺めを「山紫水明」と称えた。

18	ぼんだいじ かんのおんどう 磐台寺観音堂 (阿伏兔観音)	国重文 (建造物)	海にせりだした高い岩上に建てられた朱塗りの観音堂は、鞆の浦へ向かう船の目印になっていた。ここからの眺めは青く輝く海や美しい島々を大パノラマで満喫できる。海上安全を祈願する場所であったが、今は安産祈願で有名。朝鮮通信使も立ち寄った。
19	鞆の浦鯛しばり網漁法 ^{あみ}	市無形民俗	江戸時代から鞆に伝わる伝統漁法。鯛の群れを 6 隻の船団で取り囲み一網打尽とする勇壮な漁法。国内で唯一継承されている。
20	福山鞆の浦弁天島花火大会	未指定	江戸時代から弁天島・仙酔島などの名勝を舞台に続く花火まつり。天保 2 (1831) 年の中村家日記にも、「弁才天御祭礼花火」等が記される。
21	お弓神事 ^{ゆみ}	市無形民俗	年頭にあたり悪鬼を射払ってその年の無病息災を祈る祭儀。当番町は揃って高唱しながら町中を練り歩く。
22	お手火神事 ^{てび}	市無形民俗	巨大な松明の火の粉が飛び散る勇壮な火祭り。主に沼名前神社を舞台に行われる。海上安全や無病息災の願いを込め、町全体を火で清める。
23	はっさく うまだし 八朔の馬出し	未指定	江戸時代から続く伝統行事で、一時途絶えたが、今では全国でも鞆のみ開催。子どもたちの成長を町中で祝う。鞆商人の見栄をみるような大きな木馬に子どもたちが乗り、町並みをまわる。
24	秋祭り (渡守神社例祭) ^{わたす}	未指定	沼名前神社の境内にある渡守神社の秋の例祭。「海路平安」を司る神様が祀られている。見事なチョーサイ (山車 ^{だま}) を町中へ引きまわし、町並みを格別に輝かせる。
25	鞆の津の力石 ^{ちからいし}	市有形民俗	港で荷役作業に従事した仲使が祭礼の場などで力比べをした石。200 kg を超えるものもあり、石には重さや持ち上げた人の名前が刻まれ、沼名前神社や住吉神社に奉納されている。
26	ほうめいしゅ 保命酒	未指定	江戸時代に大坂 (阪) からやってきた漢方医の中村吉兵衛が生薬をつけ込んで造ったといわれる漢方薬味酒。福山藩の重要な産物として藩の財政を潤し、ペリー来航の際に供された。現在は 4 軒で醸造されている。

27	鯛料理	未指定	鯛網で知られる鞆の浦ならではの料理。刺身や浜焼きのほか、豪快な鯛のかぶと煮や祝い事に欠かせない鯛そうめんなど多彩。	
28	ネブトのから揚げ	未指定	瀬戸内海で捕れる小魚のから揚げ。正式名称は天竺鯛。 <small>てんじくたい</small>	
29	小魚の練り物 (がす天など)	未指定	瀬戸内海の中央で育まれた鯛や小魚といった新鮮な魚を加工した練り物。	

(※1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

構成文化財の写真一覧

1 じょうやとう
常夜燈



1 じょうやとう
常夜燈



3 はと
波止



2 がんき
雁木



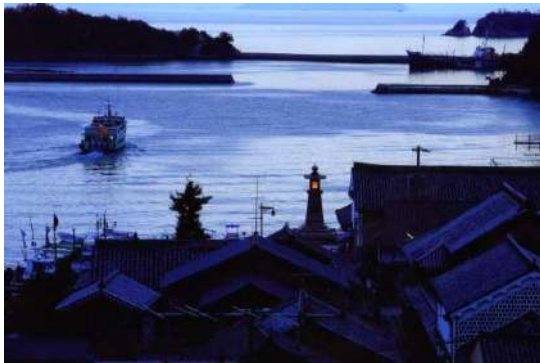
4 ふなばんしよあと
船番所跡



5 福山市^{ともちよう}鞆町 伝統的建造物群保存地区



5 福山市^{ともちよう}鞆町 伝統的建造物群保存地区



7 太田家住宅^{ちようそうてい}朝宗亭



6 太田家住宅



8 いろは丸展示館



9 軀の津の商家



12 いおうじ
医王寺



10 ぬなくま
沼名前神社能舞台



13 寺町筋



11 ぬなくま
沼名前神社の石造物群



14 よどひめ
淀媛神社



15 とも 鞆公園



16 ふくぜんじ 朝鮮通信使遺跡 鞆福禅寺境内



17 たいせんすいろう 対仙酔楼



18 ぼんだいじ かんのおんどう あぶと かんのおん 磐台寺観音堂 (阿伏兔観音)



19 鮎の浦鯛しばり^{あみ}網漁法



20 福山鮎の浦弁天島花火大会



22 お手火^{てび}神事



21 お弓^{ゆみ}神事



23 八朔^{はつきく}の馬出し^{うまだし}



24 秋祭り (渡守神社例祭)^{わたす}



27 鯛料理



25 軈の津の力石^{ちからいし}



28 ネブトのから揚げ



26 保命酒^{ほうめいしゅ}



29 小魚の練り物 (がす天など)



日本遺産を通じた地域活性化計画

認定番号	日本遺産のタイトル
65	瀬戸の夕凧が包む国内随一の近世港町 ～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～

(1) 将来像 (ビジョン)

鞆の浦は、常夜燈、雁木、波止など江戸時代からの港湾施設が今も現役で活躍し、潮待ちの港として賑わった頃の豪商の屋敷や町家、寺社なども数多く見ることができます。また、地域に伝わる四季折々の伝統行事や祭事など無形の文化財も、地域の暮らしの中で大切に守られ、受け継がれている。

福山市では、平成 30 年 3 月に「鞆まちづくりビジョン」を策定し、地域住民と行政との協働により鞆町の再生・活性化に取り組んでいる。また、令和 3 年 3 月に福山みらい創造ビジョンを策定し、「福山らしい歴史・文化・芸術が大切に継承され、市民の誇りが醸成されている」ことを目標に、鞆町のまちづくりの一環として日本遺産の魅力発信をビジョンに位置づけている。

日本遺産を活用する事業においても、鞆まちづくりビジョンや福山みらい創造ビジョンとの整合をとり、「暮らし」と「観光」の調和のとれた事業を展開し、鞆の浦の歴史的・文化的な魅力を国内外へ発信していく。

また、これまでの 6 年間に引き続き、(Ⅰ)『持続可能な地域づくりのモデルとなるまち』、(Ⅱ)『未来に歴史・文化が継承されるまち』、(Ⅲ)『観光客に滞在拠点として選ばれるまち』をめざす。

Ⅰ 持続可能な地域づくりのモデルとなるまち

これまで住民主体で担っていた伝統行事や文化資源の保護といった地域のまちづくり活動を、地域外の人にも公開・参加してもらい、地域内外の様々な主体が協働することで、まちづくりと観光振興の調和を図り、持続可能な地域づくりのモデルとなるまちをめざす。

Ⅱ 未来に歴史・文化が継承されるまち

若い世代や子どもたちが積極的に郷土の歴史・文化について学び、郷土への誇りと愛着が醸成されるよう、地域の団体・企業などのサポートのもと、世代間交流を進める。さらに、この取組を通じて人材育成のサイクルを構築し、未来に歴史・文化が継承されるまちをめざす。

Ⅲ 観光客に滞在拠点として選ばれるまち

歴史的な町並みや地域のコミュニティを生かし、地域の暮らしや文化を感じられる滞在型の観光地づくりを促進するため、効果的な情報発信により、外国人をはじめとした観光客が拠点として選び、「行ってみたい」、「また行きたい」、「住んでみたい」と思えるまちを

めざす。

(2) 地域活性化計画における目標

※各目標に対し、複数の指標を設定可

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－A：福山市鞆町町並み保存拠点施設（鞆てらす）の来館者数（単位：人）

年度	実績			目標		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
数値	—	33,149	集計中	41,000	42,000	43,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	鞆町伝統的建造物群保存地区内に位置し、町並み保存や日本遺産の展示等、観光の拠点となる施設の入館者数					

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－B：鞆の浦史跡めぐり観光ガイドの利用者数（単位：人）

年度	実績			目標		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
数値	3,945	5,516	集計中	8,000	8,500	9,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	鞆の浦しお待ちガイドの会が実施する鞆の浦史跡めぐり観光ガイドの利用者数を指標とする。					

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること

指標②－A：福山市民が日本遺産に認定されたことを知っている割合

年度	実績			目標		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
数値	68.8%	65.4%	68%	68%	69%	70%
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	情報発信に係るインターネットアンケートの調査結果により、認知度を指標とする。					

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること

指標③－A：鞆の浦の一人あたりの観光消費額

年度	実績			目標		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
数値	8,122 円	7,976 円	集計中	8,175 円	8,379 円	8,588 円
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	広島県観光統計より、2022 年の同統計より年間約 2.5%増					

目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること						
指標④－A：一口町方衆の基金から日本遺産に充当される額（単位：千円）						
年度	実績			目標		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
数値	10,000	2,900	4,500	4,500	4,500	4,500
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	一口町方衆の基金から日本遺産に充当される額を指標とし、令和6年の規模を維持する。					

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤－A：福山市の宿泊者数						
年度	実績			目標		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
数値	780,000	1,005,000	集計中	1,030,125	1,055,878	1,082,274
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	広島県観光統計より、2022 年の同統計より年間約 2.5%増					

(3) 地域活性化のための取組の概要

I 持続可能な地域づくりのモデルとなるまち

持続可能な組織体制の整備

これまでの6年間で持続可能な組織体制の整備を実施し、地域に根ざしたまちづくりを推進するため、地域団体、企業、行政による「鞆の浦魅力発信協議会」を令和5年3月に設立した。今後は「鞆の浦魅力発信協議会」を主体とした事業運営を実施し、組織の中心的な役割を担う熱意ある民間人リーダーを育成し、持続可能な組織体制を強化し、まちづくりの効率化・継続化を図る。

① 観光の事業化

地域活性化事業の原資を継続的に確保するため、観光客が地域の祭り・イベントに参加できる新たな仕組みづくり、ボランティアガイドの育成・事業化など地域に収益をもたらす事業を推進し、地域の活力向上につなげる。

現状では、地域外の事業者、協力者の巻き込みが十分ではないことが課題である。

そのため、観光事業者が独自に実施をしている様々な事業と協力を図り、官民一体となった収益性のある事業実施を図る。

II 未来に歴史・文化が継承されるまち

これまでの6年間のうち、住民の地域への誇りや愛着を醸成する取組を実施してきたが、取組の中で人材育成のサイクルが確立しきれていないことが課題である。

そのため、下記の2項目についての取組を実施する。

① 次世代への伝統文化の継承

これまでの6年間では、日本遺産認定記念シンポジウムや、日本遺産ミニ講座の実施により、日本遺産に認定された鞆の浦の祭りや伝統行事、食文化などを継承するための取組を実施してきた。今後はこの取組を深化させ、地域の方と協働したワークショップの実施により、地域の伝統文化を再認識し、住民の地域への誇りや愛着を醸成する。

② まちづくりを担う人材の育成

地域住民が自分の住むまちに積極的に関わられるようにするため、町内の小・中学生が行う地域学習「鞆学」と連携を図り、町内の小・中学生が提案する構成文化財を活用したアイデア等を地域の住民、団体、企業がその実現に向けて取り組める場を設けることで、世代を超えた交流による人材育成サイクルを構築する。

III 観光客に滞在拠点として選ばれるまち

これまでの6年間のうち、日本遺産を活用した情報発信に努めてきたが、首都圏での認知度が伸び悩んでいることが課題である。

そのため、下記の2項目についての取組を実施する。

① 新たな魅力の発掘やターゲットに合わせた商品開発及び情報発信

2018年度に実施をした鞆の浦の潜在力調査により、国内外のターゲット選定を実施し、ターゲット選定に合うような事業を実施してきた。

今後は、ターゲットに合わせたツアー商品の開発や、ホームページ、SNS等による

国内外への情報発信により認知度上昇に努め、観光資源の魅力向上とともに観光客数の増加を図る。

② 外国人観光客が快適に滞在できる環境整備

外国人観光客にストレスなく快適に過ごしてもらえるように、多言語対応の強化や、外国語ガイドの育成などの環境整備をすることで、外国人観光客の満足度の向上やリピーターの増加を図る。

◎上記の取組とともに、国や県の事業を活用した町並み修理・修景事業や道路港湾整備事業等により、生活と観光が共存する調和のとれた一体的なまちづくりをめざす。

(4) 実施体制

・ 協議会の名称

鞆の浦魅力発信協議会

・ 構成団体

役割	団体名
まちづくり	鞆学区まちづくり推進委員会
	鞆町内会連絡協議会
	鞆まちなみ保存会
	鞆の浦漁業協同組合
	宗教法人 沼名前神社
	構成文化財所有者
	鞆の浦しお待ちガイド会
地域経済の活性化	鞆鉄道(株)
	鞆保命酒組合
	NPO 法人鞆の浦振興事業団
	(株)阿藻珍味
	(株) hitohi
	(株)鞆スコレコーポレーション
	鞆の浦さくらホーム(有)
	(株)三暁
アサヒタクシー(株)	
連携・調整	福山観光コンベンション協会
	福山商工会議所
	福山市

[人材育成・確保の方針]

町内の小・中学生が提案する構成文化財を活用したアイデア等を地域の住民、団体、企業がその実現に向けて取り組める場を設けることで、世代を超えた交流を通して地域活性化が継続される場を作り、日本遺産事業に携わる人が地域の中心的な役割を果たすことで人材育成につながるサイクルを構築する。

(5) 日本遺産の取組を行う組織の自立・自走

協議会は広島県が実施をしているふるさと納税の基金を財源とする負担金によって運営されており、当面は負担金を充てながら活動を実施していく。

新たな制度として協議会から日本遺産鞆の浦の構成文化財を活用する事業者に対して補助金を交付することで、民間事業者の自主的な取組を支援するとともに、日本遺産事業の取組の自走化につなげる。

また、中・長期的な目標として、HP への広告掲載やグッズ販売を行うなど、日本遺産の協議会が収益を得られる仕組みづくりをめざす。

(6) 構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

構成文化財には重要伝統的建造物群保存地区や重要文化財、名勝などの国の指定文化財が多く含まれており、福山市歴史文化基本構想等の計画に沿って国・県と協議をしながら計画的に保存修理・修景事業を実施し、文化財の保存継承に取り組んでいる。

さらに、神事や無形文化財、食などの構成文化財を活用した取組を実施し、各団体との連携、支援を行っている。

また、大学連携事業や文化財についての講座（文化財めぐり、ミニ講座等）により、地域の魅力を深掘りし、地域に還元していくことで地域住民の文化財の愛護精神の向上につなげていく。

(7) 地域活性化のために行う事業

(7) - 1 組織整備

(事業番号 1 - A)

事業名	地元住民や民間事業者との連携		
概要	地元住民や民間事業者と日本遺産を活用したまちづくりや観光振興事業を円滑に実施するための組織整備を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	協議会の開催	各団体の代表者を集めた協議会を実施することで、日本遺産を活用したまちづくりや観光振興について協議をする。	協議会
②	新たな参画団体の呼びかけ	協議会や事業運営に関わる新たな参画団体を募り、組織体制の強化を図る。	協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	組織体制への参画団体数		20 団体
2022			21 団体
2023			21 団体
2024	組織体制への参画団体数		22 団体
2025	組織体制への参画団体数		23 団体
2026	組織体制への参画団体数		25 団体
事業費	2024 年度 : 0 円 2025 年度 : 0 円 2026 年度 : 0 円		
継続に向けた事業設計	地元住民や民間事業者と密に連絡を取り合い、地域内の連携強化を図る。		

(事業番号 1 - B)

事業名	構成文化財を活用した取組		
概要	構成文化財所有者や民間事業者等の関係各者との連携を図り、日本遺産の構成文化財を活用した取組を実施する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	無形民俗文化財の用具修理・保全	構成文化財に選定されている無形民俗文化財の所有者と連携を図り、用具の修理等を実施する。	構成文化財所有者

②	構成文化財を活用したイベントや行事の実施	関係機関と連携を図り、構成文化財を活用したイベントや行事を実施する。	民間事業者、協議会
③	鞆の浦学園との連携	鞆の浦学園で実施されている地域学習「鞆学」との連携	鞆の浦学園、協議会
④	構成文化財の周知・発信	構成文化財を広く周知・発信するためのパンフレット等（デジタル媒体での発信を含む）の作成等	民間事業者、協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	構成文化財を活用した取組件数		0件
2022			0件
2023			2件
2024	構成文化財を活用した取組件数		5件
2025	構成文化財を活用した取組件数		8件
2026	構成文化財を活用した取組件数		10件
事業費	2024年度：4,000千円 2025年度：4,000千円 2026年度：4,000千円		
継続に向けた事業設計	地元住民や民間事業者と密に連絡を取り合い、地域内の連携強化を図る。		

(7) - 2 戦略立案

(事業番号 2 - A)

事業名	行政計画への位置づけ		
概要	他の行政計画に日本遺産事業を位置付けることにより、他の事業との連携や安定的な事業継続を図る。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	福山市歴史文化基本構想	市内の文化財を保存し、継承するための指針として平成 30 年 3 月に策定。文化財を活かした福山市や地域の魅力の国内外への発信・誘客につなげることをめざし、日本遺産を計画に位置付けている。	福山市
②	鞆まちづくりビジョン	地域と行政とが協働する取組などの方向性を示す鞆の新たなまちづくりの指針として平成 30 年 3 月に完成。歴史・文化を活用した地域活性化の取り組みとして日本遺産を位置づけ、観光 PR による知名度の向上と様々な主体の協働による地域活力を向上する取組の支援につなげる。	福山市
③	福山みらい創造ビジョン	計画期間を令和 3 年度から令和 6 年度とし、歴史・文化の継承や市民の誇りの醸成、鞆のまちづくりの一環として日本遺産を計画に位置付けている。	福山市
④	福山市鞆町伝統的建造物群保存地区防災計画	福山市鞆町伝統的建造物群保存地区防災計画を令和 3 年 5 月に策定。日本遺産の構成要素のひとつである重要伝統的建造物群保存地区を保存・継承・活用していくための防災対策が講じられ、観光客等の来訪者への避難所情報提供等の体制が示された。	福山市
⑤	福山市仙酔島活性化基本構想	旧国民宿舎跡地の利活用の方向性を定めるため、令和 4 年 2 月策定。瀬戸内のにぎわい創出を目的として策定された当該基本構想により、日本遺産の構成要素のひとつである名勝鞆公園を構成する仙酔島のにぎわい創出に向けて取組を進めている。	福山市
⑤	福山市文化財保存活用地域計画	2024 年度中の認定をめざし、福山市歴史文化基本構想のアクションプランとして、福山市文化財保存活用地域計画の策定に向けた取組を進めている。日本遺産や構成要素となる文化財についても、本計画内に位置づけ、活用を図る。	福山市

年度	事業評価指標	実績値・目標値
2021	日本遺産との関係性を明確化した行政計画の数	4件
2022		5件
2023		5件
2024	日本遺産との関係性を明確化した行政計画の数	6件
2025	日本遺産との関係性を明確化した行政計画の数	7件
2026	日本遺産との関係性を明確化した行政計画の数	8件
事業費	2024年度：0円 2025年度：0円 2026年度：0円	
継続に向けた事業設計	行政計画の中に日本遺産を位置づけることで、各部署が一体となって日本遺産の活用や情報発信に取り組む。	

(7) - 3 人材育成

(事業番号3-A)

事業名	地域の担い手育成事業		
概要	ガイドのスキルアップ事業を行うなど、日本遺産を活用した事業等に取り組む人材の育成を支援する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	ガイドスキルアップ講座	地元で活動するガイドのスキルアップ講座を実施し、効果的な日本遺産の活用と人材育成を図る。	鞆の浦しおまちガイド会、協議会
②	地域学習「鞆学」の取組	地元の小中学生が学ぶ地域学習「鞆学」の中で日本遺産を活用した取組を実施し、将来を担う人材の育成を図る。	鞆の浦学園、協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	ガイド育成修了者のうち活動者数		24人
2022			18人
2023			集計中
2024	ガイド育成修了者のうち活動者数		20人
2025	ガイド育成修了者のうち活動者数		23人
2026	ガイド育成修了者のうち活動者数		25人
事業費	2024年度：0円 2025年度：0円 2026年度：0円		
継続に向けた事業設計	ガイドのニーズを調査し、ニーズにあった内容の養成講座を継続的に実施する。		

(7) - 4 整備

(事業番号4-A)

事業名	日本遺産環境整備		
概要	日本遺産の構成文化財の修理を実施するほか、活用の拠点となる施設の整備を実施する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	文化財保存事業	日本遺産の構成文化財に選定されている重要文化財建造物の保存修理事業等を実施し、後世に貴重な文化財を継承する。	福山市
②	福山市鞆町重要伝統的建造物群保存地区町並み保存事業	日本遺産の構成文化財に選定されている福山市鞆町重要伝統的建造物群保存地区内の特定物件の修理・修景を行う。	福山市
③	史跡鞆朝鮮通信使遺跡鞆福禅寺境内ガイダンス施設整備事業	日本遺産の構成文化財に選定されている史跡鞆朝鮮通信使遺跡鞆福禅寺境内を紹介するガイダンス施設を建設する。	福禅寺 福山市
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	構成文化財の修理等件数		15件
2022			12件
2023			15件
2024	構成文化財の修理等件数		13件
2025	構成文化財の修理等件数		13件
2026	構成文化財の修理等件数		13件
事業費	2024年度:152,000千円 2025年度:152,000千円 2026年度:152,000千円		
継続に向けた事業設計	構成文化財所有者等と密に連携を図り、継続的に事業を実施する。		

(事業番号4-B)

事業名	日本遺産拠点施設整備		
概要	日本遺産の周遊の拠点となる施設の整備及び活用を実施する。		
	取組名	取組内容	実施主体

①	拠点施設運営事業	鞆町伝統的建造物群保存地区の拠点施設である福山市鞆町並み保存拠点施設（愛称：鞆てらす）において、日本遺産の構成文化財を紹介し、まち歩きの拠点とする。	福山市，協議会
②			
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021			0件
2022	鞆てらすを活用した取組の件数		6件
2023			集計中
2024	鞆てらすを活用した取組の件数		20件
2025	鞆てらすを活用した取組の件数		23件
2026	鞆てらすを活用した取組の件数		25件
事業費	2024年度：0円　2025年度：0円　2026年度：0円		
継続に向けた事業設計	鞆こども園の作品を展示する「白壁美術館」や福山観光コンベンション協会の写真展など、鞆てらすを活用した取組を地域住民や観光事業者等と密に連携を図り事業を実施する。		

(7) - 5 観光事業化

(事業番号5-A)

事業名	日本遺産周遊促進事業		
概要	日本遺産のストーリーを体験するため、構成文化財の周遊促進を図る。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	名勝鞆公園への周遊促進	構成文化財に選定されている名勝鞆公園内に位置する仙酔島への周遊促進を図る。	福山市, 協議会
②	グリーンスローモビリティの活用	グリーンスローモビリティを活用した構成文化財の周遊促進を図る。	民間事業者, 協議会
③	地域産業を活用した体験事業の実施	潮待ちの港を支えるうえで欠かせない「鞆鍛冶」を活用した取組など, 体験型コンテンツの充実, 活用を図る。	民間事業者, 協議会
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	仙酔島渡船乗り場の利用者数		72,985人
2022			88,529人
2023			計測中
2024	仙酔島渡船乗り場の利用者数		90,000人
2025	仙酔島渡船乗り場の利用者数		92,500人
2026	仙酔島渡船乗り場の利用者数		95,000人
事業費	2024年度: 0円 2025年度: 0円 2026年度: 0円		
継続に向けた事業設計			

(7) - 6 普及啓発

(事業番号6-A)

事業名	小中学生向け普及啓発事業		
概要	地域内の小中学生が日本遺産を誇りに思えるよう、学校教育と連携した普及啓発等を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	出前講座の実施	市内の各学校において日本遺産に認定されている鞆の浦や、構成文化財について出前講座を実施する。	福山市
②	地域学習「鞆学」との連携	鞆の浦学園で実施されている地域学習「鞆学」と連携し、日本遺産に関する取組を実施する。	鞆の浦学園、協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021	小中学生向け出前講座の実施件数		0件
2022			0件
2023			2件
2024	小中学生向け出前講座の実施件数		3件
2025	小中学生向け出前講座の実施件数		4件
2026	小中学生向け出前講座の実施件数		5件
事業費	2024年度：0円 2025年度：0円 2026年度：0円		
継続に向けた事業設計	受講者のニーズに応じて内容を変更するなど、講座を依頼しやすい環境を整える。		

(事業番号6-B)

事業名	市民向け普及啓発事業		
概要	地域住民が日本遺産を誇りに思えるよう、地元と連携した普及啓発等を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体

①	出前講座の実施	公民館等において日本遺産に認定されている鞆の浦や、構成文化財について出前講座を実施する。	福山市
②	文化財めぐりの実施	市内で実施をしている「文化財めぐり」において、鞆を活用した取組を実施する。	福山市
③	文化財巡回展の実施	鞆の港湾施設等に関する発掘調査成果等の巡回展を実施する。	福山市
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021			0件
2022	市民向け出前講座の実施件数		7件
2023			8件
2024		市民向け出前講座の実施件数	8件
2025	市民向け出前講座の実施件数		9件
2026	市民向け出前講座の実施件数		10件
事業費	2024年度：0円　2025年度：0円　2026年度：0円		
継続に向けた事業設計	受講者のニーズに応じて内容を変更するなど、講座を依頼しやすい環境を整える。		

(7) - 7 情報編集・発信

(事業番号7-A)

事業名	情報発信事業		
概要	公式ホームページ（VISIT 鞆の浦）や SNS を活用し、情報発信を実施する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	HP 維持管理・情報発信	HP の維持管理をするとともに内容を更新し、アクセス等を分析し、事業内容検討の参考とする。	協議会
②	SNS を活用した情報発信	Youtube や Instagram, facebook 等を活用し、構成文化財の開設や、関連イベント情報等を継続的に情報発信していく。また、ハッシュタグを活用した取組を実施し、来訪者による投稿の促進を図る。	協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2021			9,135 PV
2022	WEB サイトページビュー数		13,883 PV
2023			集計中
2024	WEB サイトページビュー数		15,000 PV
2025	WEB サイトページビュー数		17,500 PV
2026	WEB サイトページビュー数		20,000 PV
事業費	2024 年度：300 千円 2025 年度：300 千円 2026 年度：300 千円		
継続に向けた事業設計	内容の充実を図るとともに、継続的な情報発信に取り組む。		